

竹 原 市 収 受	
竹	第 号
- 7. 3. 26	
処理期限	月 日
分類記号	保存年限

資料様式第3号

議 長	副議長	局 長	係 長	局 員
				

令和 7 年 3 月 18 日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 大川弘雄



視察・調査場	東京都豊島区 区民センター
期 日	令和 7 年 2 月 10 日 ~ 令和 7 年 2 月 11 日
経 費	70,200 円
参加者氏名	大川弘雄
視察・調査目	適正な議員定数・報酬
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	適正な議員定数の算定方法を考える 地方議会議員の概況 1, 投票率推移/ 昭和 26 と比較して 47.1%down 2, 議員のなり手不足 / 解消のためには報酬 up、厚生年金加入が有効 3, 議員定数規定の推移/ 条例で定数を定める (人口比例方式を採用) 4, 住民意識/ 住民意見は議員の代表意見 (なぜ減ずるのか? が必要) 佐伯市- 定数減・報酬 up でより意欲のある議員が立候補するようになる必要がある 5, 定数と経費の関係/ 財政状況に影響なし、無駄な事業減の方が有意義 6, 議会がなすべき議会改革/ 政策作成能力の向上・民主化・閉鎖性の打破 7, 改正時期/ 選挙の 1 年前には議論を終わらせる必要あり。 8, 議論と民意等の反映手法/ 公聴会、参考人・専門的見識・報告会、アンケート調査の活用 適正な議員報酬の算定方法 1, 議員報酬の法的根拠 2, 改正状況 3, 議員報酬を考えるにあたっての考慮点 ① 選挙によって選ばれた特別職 (責任が職員と比べ大、権限) ② 4 年のみの保障 (ローンを組めない) ③ 年金なし ④ 退職金なし ⑤ 対外的に職業として認識されない

効果・成果 等	色んな考え方、計算のしかたの研修会でした。 討議性・専門性・市民性・議会運営性をたかめる為に必要な議員数を考えるとき市民の皆さんとの会話が、何よりも必要である事は確かであると受け取りました。とわいえ、投票率 50%以下であったり無投票で市民の代表と言えるでしょうか？投票率 up も考えなくては！ 議員のなり手不足対策、女性議員の少なさも然り。 議員の定数・報酬は如何に議会改革できるのか、すなわち①政策作成能力の向上(立法活・施策立案活動・執行行政の有効性チェック・予算案への批評)②議会自身の民主化(権力構造の分権化)③議会の閉鎖性の打破(議会、委員会の公表・個々の議員の表決の公表・議員の私利行為の廃止)を実現するための議員資質向上に役立つものであるべき。
------------	--

※ 実施後 1 ヶ月以内に報告する。